

第二回 清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ 新しい学校施設の夢を語り合おう



ワークショップの概要

日 時：2023年3月25日（土）10:00～12:00

会 場：清瀬市役所 研修室1・2

テーマ：「新しい学びの場・生活の場・地域活動の場」

内 容：当日は13名の参加があり、こんな風に学べるといいな（学びの場）、
過ごせるといいな（生活の場）、使えるといいな（地域活動の場）と思う
場所を事例写真の中から選び、理由を付箋に書き、良いところや課題等を
グループで意見交換し、選んだ事例写真に共通する考えをまとめ、
その内容をグループの代表者が発表し、考えを共有しました。

チーム 居場所

「リラックスできる学校にしたい」



<各グループの発表内容>

- グループワークの始めはトイレの内容が中心だった
- トイレは**LGBTQの配慮**や**誰にとっても居場所となる、居心地の良い場所**になるとよい
- 学びについて大きく2つある。
1つ目は**子どもが場所を選べる**ことである。例えば集中して学習できる場、運動できる場、安らげる場等である。
2つ目に**人と人がつながれる場所**である。
子ども同士で机を向かい合いにして学習することや
地域と学校で交流しながら学習できる場所があるとよい。



チーム 安全安心

「安全・安心、心がやすらぐ学校」



- 写真にプールや管理諸室等がない。**総合的な検討が必要**。
- 子どもが過ごす場所として**安全安心で楽しい場所になってほしい**。そう考えたときに、充実した施設とするためには校地が狭いと思う。子どもたちが過ごしやすい場を
実現し、子どもたちに寄り添った場所にしてほしい。
- 避難所は写真のような場所でよいとは思えない。**避難生活しやすい場として配慮**が必要であるが、
写真からは読み取れない。
- 自然を活かしたい**。地域の人が清瀬小学校に花を植えている。そういった**取組み等を通してみんなで学校づくり**
ができるよい。
- 保護者・児童も参加した会で意見交換**できるとよい。
- まちづくり基本目標に達するような施設整備**をしてほしい。

チーム 明るく安心！

「施設も心もオープンに！明るく安心！！」



- 学びについて、クラス間がオープンスペースでつながる等、**教室を広く使えそう**なことで、**見通しがよい**ことで、いじめがなくなることも考えられそうである。
- 生活について、トイレや共用スペース等のみんなが利用する場所は**自然光が入り明るく、色も明るい色使い**がよいと思う。
- 地域について、**施設がオープンになることで交流がしやすくなる**とよいと思う。一方で、**セキュリティ強化が必要**となり、課題でもある。
- 避難所として利用しやすい環境**を整備してほしい。



「学びの場」「生活の場」「地域の場」について主要な意見を以下にまとめました。

学びの場

<教室>

- ・ICT環境を整えて、学校から外に繋がしやすい環境があるとよい。
- ・協働的な学習がしやすい環境があると考える力や行動力が身につく
- ・狭い教室ではなく広い環境で過ごしてもらいたい
- ・四角ではない教室



<教室まわり>

- ・集団と個がそれぞれ学びやすい場をつくる（人数編成に対応できる場所があるとよい）
- ・教室から全てがオープンになっているところが、誰が見ても目が届くのよい
- ・十分な収納スペースが確保できそう

<雨の日の活動場所>

- ・雨で体育ができないときや休み時間等に利用
- ・雨の日の「廊下をはしる」がなくなるスペース
- ・運動意欲、気持ちのコントロールを行う場所として

<図書室>

- ・読み聞かせなど、みんなで聞けることができるスペースも大切
- ・図書館でプログラミングや様々なことに触れられるとよい

<階段ホール>

- ・後方の子でもよく見える
- ・絶対に必要なもの、校内に2～3か所あるとよい

<特別教室>

- ・学習の世界に入る、教科の世界観がワクワク感を高める
- ・研究員みたいでテンションが上がる
- ・グループの意見を共有しやすい

<屋外>

- ・屋内だけではなく実物を見てほしい
- ・教室だけではなく学びの場は子どもたちの意識を変える

<その他の意見>

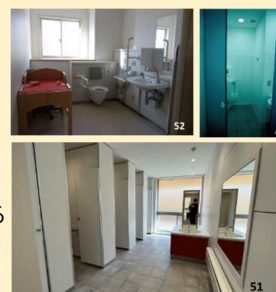
- ・全天候型 庭
- ・屋内プール



生活の場

<トイレ>

- ・プライバシーを守りたい
- ・外からも入れるトイレ
- ・誰でもトイレの位置は重要
- ・スペースの確保が重要
- ・LGBTQに配慮したトイレ
- ・清潔なトイレと大きな鏡の設置、鏡は自分を見つめる、客観視できる
- ・明るいトイレがよい（自然光、色使い）



<掃除ステーション>

- ・清掃活動の意義、空間を分け、効果的に活用する

<デン>

- ・モヤッ、イラッとしたときの避難場所
- ・自分の感情をコントロールできる場所
- ・逃げ込む場所が「トイレ」以外にあるとよい
- ・見守る人がいる居心地の良い場所があるとよい



<図書室>

- ・いろいろな椅子、好きな姿勢で読める空間でリラックス

<階段ホール>

- ・いろいろな場所で好きなことを
- ・多目的に使える場所が必要。

<特別教室>

- ・家庭科室 子供食堂として利用できるとよい
- ・特別教室の学習教科以外の使用ができるとよい

<屋上>

- ・テラスを緑化して、屋内・屋外の一体化をはかる
- ・ベンチ、芝生、大型遊具があるとよい

<学童クラブ>

- ・人数が増えても対応できる
- ・広さが必要

<その他の意見>

- ・LGBTQに配慮した更衣室

地域利用の場

<体育館>

- ・走路があると学校体育館の可能性を広げられそう



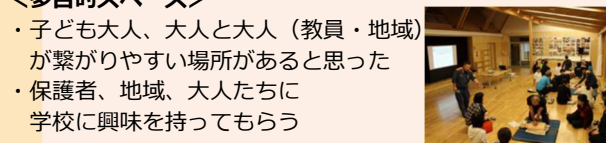
<避難所機能>

- ・しっかりとした備蓄倉庫が必要
- ・地域と一緒に訓練ができるとよい
- ・井戸ができるなら、あるとよい
- ・高さが違う水道はいろいろな方が使用できる（ペットも含む）



<多目的スペース>

- ・子ども大人、大人と大人（教員・地域）が繋がしやすい場所があると思った
- ・保護者、地域、大人たちに学校に興味を持ってもらう



<みんなが利用できる場所>

- ・児童センター的に利用できる
- ・児童館として赤ちゃんから子ども、お年寄りも利用できる空間
- ・就学前に学校の雰囲気わかる
- ・親子で図書室が使用できるとよい



<階段ホール>

- ・教育だけではなく、様々な用途で活用できそう

<職員室まわり>

- ・保護者も入りやすい

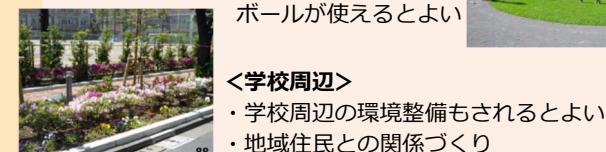


<校庭>

- ・放課後・休日の利用
- ・ボールが使えるとよい

<学校周辺>

- ・学校周辺の環境整備もされるとよい
- ・地域住民との関係づくり



<その他の意見>

- ・地域資源を共有できる学校
- ・セキュリティの強化

意見が多かった写真と主な意見

子どもたちが利用するスペースと地域の活動や避難所を中心に選定した92枚の写真から、学びの場・生活の場・地域の場の3つについて、写真を選んだ理由や意見をふせんに書きました。特に選んだ人が多かった7枚の写真について主な意見をまとめました。

<教室・教室まわり>

- ・教室を広く使用することができる
- ・集団と個がそれぞれ学びやすい場をつくる
大集団・小集団・個人・2～3人、集団構成によってそれぞれ対応できる場所があるとよい
- ・教室とオープンスペースの間にロッカースペースがある、オープンで死角がない
- ・誰が見ても目が届くのでよい（いじめ防止にも）
- ・学年で使える共有の場、クラス間交流に有効、フルオープンにできる扉がほしい

<図書室>

- ・いろいろな椅子、好きな姿勢で読める空間
- ・リラックスして仲間とくつろぎストレスを解放できる
- ・寝転んで本を読める環境などは取り入れてほしい
- ・未就学の子どもたちも使用することができそう
- ・緑があることで、リラックスできる
- ・様々なニーズに合わせた図書館、読み聞かせなど、集めてみんなで聞けることができるスペースも大切

<教室・教室まわり>

- ・雨で体育ができないときや休み時間等に利用できそう
- ・雨の日に「廊下をはしる」がなくなりそう
- ・運動意欲、気持ちのコントロールを行う場所としてあるとよさそう
- ・屋内でも運動できるスペースがあるとよい



<階段ホール>

- ・教育だけではなく様々な用途で活用できそう
- ・多目的に使える場所が必要。部屋として用意していなくてもよい
- ・階段のようなスペースがあると後方の子でもよく見える 見えないことで見ない子もいると思う
- ・絶対に必要なもの、校内に2～3か所あるとよい



<デン>

- ・落ち着くスペースが必要
- ・自分の感情をコントロールできる場所
- ・逃げ込む場所が「トイレ」以外にもできるとよい
- ・ホッとできる場所が必要だけど、見守る人も必要
- ・一人になりたいときに落ち着く空間があるとよい
- ・自然木を利用してよい



<避難所機能>

- ・避難所は学校のイメージがある。地域の方と一緒に訓練等ができるとうい
- ・避難所はこの写真のような場所でよいのか
- ・避難所としての学校、仕方なくカーテン等で区分けするような形ではなく、生活の場として利用できる施設をつくる
- ・多目的室や体育館ではなく、利用しやすい避難所としてのスペースを考える
- ・階段・エレベーターにも工夫が必要

